

中国人強制連行・強制労働と万人坑（人捨て場）

【展示内容】

「日中一五年戦争」時に、主に日本の民間企業によって約4000万人が中国本土で強制労働に従事させられ、そのうち1000万人近くが死亡し、万人坑とよばれる人捨て場に捨てられたといわれます。

本展では、中国本土における強制労働の苛烈な実態と、今も数多く現存している万人坑について紹介します。



新記念館（資料館）を建設中



抗暴青工遺骨館に保存されている発掘現場

【会期】2020年12月1日（火）～12月22日（火）

【休館日】日曜日

【開館時間】9時30分～16時30分（入館は16時まで）

※開館時間は変更することがございます。HP等でご確認ください

【会場】立命館大学国際平和ミュージアム2階 常設展示室内

【見学資料費】大人400円、中高生300円、小学生200円

*先に1階受付で見学資料費をお支払いください

*立命館で学ぶ人・働く人は無料です

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご来館の皆様にご協力をお願いいたします
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、今後の展示・企画を急遽延期もしくは中止させていただく可能性がございます

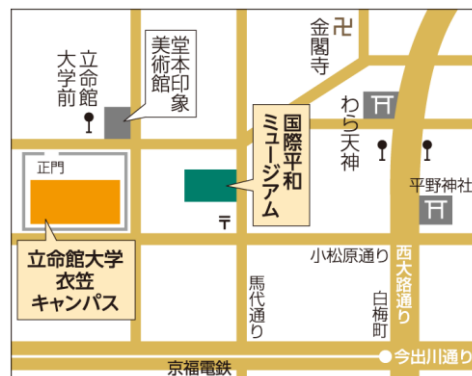
【交通案内】

市バス 12・15・50・51・52・55・59・M1、JRバスにて

「立命館大学前」下車、徒歩5分

市バス 204・205にて「わら天神前」下車、徒歩10分

※駐車場はありませんのでお車での来館はご遠慮ください



【主催】平和を考え行動する会

【共催】立命館大学国際平和ミュージアム

【問い合わせ】立命館大学国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899

<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/>